



<b>D スポーツ団体組織の育成と充実</b>	
1 スポーツ協会への支援	9
2 スポーツ少年団への支援	10
3 地区スポーツ交流会等への支援	10
4 スポーツ推進委員への支援	11
5 生涯スポーツ普及員への支援	11
6 総合型地域スポーツクラブの質的充実	12
7 スポーツ団体及び健康づくり関連組織との連絡調整	12
<b>E 運動やスポーツによる地域コミュニティの推進</b>	
1 全町的なスポーツイベントの開催	12
2 各種団体の運動やスポーツ活動の支援	12
3 総合型地域スポーツクラブの活性化	13
<b>F スポーツ基盤の整備</b>	
1 スポーツ施設の整備充実	13
2 学校施設の開放	14
3 運動やスポーツの指導者養成	14
(1) 種目別指導者の養成	
(2) 町独自の指導者・ボランティアの養成	
(3) スポーツ推進委員・生涯スポーツ普及員の資質向上	
(4) 指導者及びボランティア人材情報の収集	
(5) 生涯学習及び健康関係各課とのスポーツ人材情報の共有	
3 運動やスポーツの情報収集と提供	16
(1) 町民の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査の実施	
(2) スポーツ団体や関係組織からの情報収集の検討	
(3) 生涯スポーツ関連ホームページの充実	
(4) 運動・スポーツ情報の整理と蓄積	
<b>G 行政運営の創意工夫</b>	
1 スポーツ行政の総合的な推進	17
2 地域におけるスポーツ推進体制の充実	18
<b>III 第二次加美町スポーツ推進基本計画～アクションプランの概要～</b>	19
<b>IV 第1期計画の実現に向けて</b>	20

#### 参考資料

1 加美町スポーツ推進基本計画推進委員会審議経過	23
2 加美町スポーツ推進基本計画推進委員会名簿	24

# I 第二次加美町スポーツ推進基本計画 第1期計画の目標と位置づけ

## 1 第二次加美町スポーツ推進基本計画策定の趣旨

本町では、平成21年12月に『誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも』を合言葉に生涯スポーツ社会の実現を目指した「加美町スポーツ振興基本計画」を策定し、運動場や体育館などのスポーツ施設の整備・改修と町民スポーツの振興を図ってきました。行財政改革に伴い社会体育施設に指定管理者制度を導入し、官から民への流れにあります。また、中新田・小野田・宮崎の三地区の特徴を生かした地区スポーツ大会の実施など、従来の行政主導のスポーツ振興から「町民の自立したスポーツ活動」への転換を目指し、スポーツ推進委員や生涯スポーツ普及員、町内のスポーツ関係団体とともに実現に向けた協議を進めてきました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」）が開催されるのを機に、本町としてもホストタウン国としてチリ共和国パラリンピック選手団を事前合宿地として受入れ、町民とのスポーツ交流や文化的交流の国際交流を進めていくとともに、共生社会を推進していき、東京2020大会が終了した後に素晴らしいレガシーが残るよう進めていかなければなりません。

平成27年8月に「第二次加美町総合計画」、平成27年9月に「第二次加美町生涯学習計画」が策定されておりますが、これまでの取り組みをより一層推進するとともに、町民による自立した運動やスポーツ活動が活性化するような新たな仕組みづくりを目指し、実現に向けて施策を計画的に進めていくために「第二次加美町スポーツ推進基本計画」を策定します。

## 2 加美町における生涯スポーツ推進の目標

第二次加美町スポーツ推進基本計画の具体的な達成目標は、国が示した「スポーツ基本計画」（平成24年3月改定）による「できるだけ早期に、成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人（65%）となることを目指す」に準ずるものとします。あわせて、町民とスポーツとの関わりの「行う」だけでなく、「みる」「ささえる（創る）」についても達成目標を示すべきですが、これらは基準となる数値が存在しないことから、具体的な達成目標は示していません。

しかし、「ささえる（創る）」の関わりについては、町民参加のスポーツ環境の創出、町民主体によるスポーツ組織の運営、青少年・成人・高齢者・障がい者スポーツ等へのボランティアを養成するとともに、総合型地域スポーツクラブを核とした地域コミュニティの推進を目標として設定しました。また「みる」の関わりについては、高いレベルのスポーツイベントの招致、町内外に情報発信できるスポーツイベントの創出を目標としております。

第二次加美町スポーツ推進基本計画では、上記目標を達成するために、以下の2つを計画の柱として提案しています。

(1) 週1回のスポーツ実施率65%の実現を目指した

マイスポーツ・マイライフの形成と推進

子どもから高齢者、障がい者までライフステージとライフスタイルに応じたスポーツライフを提供します。

- ①町民が自分の目的や体力に合わせた運動やスポーツ活動が可能な環境を提供します。
- ②運動やスポーツを通して青少年の健全な成長をサポートします。
- ③高齢社会における高齢者の健康づくりを支援します。
- ④障がい者の方も参加できる運動やスポーツ環境を提供します。

## (2) 生涯スポーツ社会の基盤となる地域コミュニティの推進と充実

これまでのスポーツ団体組織について、行政主導から自主的・主体的に運営するスポーツ団体組織へ環境を整備します。

運動やスポーツを通して、町民同士の交流と世代間交流へとスポーツの輪を広げ、生きがいづくりへとスポーツを親しみやすく身近なものにします。

「活力ある生活文化のまち」を実現するため、町民・民間・行政の「協創」による運動やスポーツ環境の実現を図ります。

地域住民が気軽に運動やスポーツに親しめ、健康維持・増進が図れるよう、総合型地域スポーツクラブが核となった地域コミュニティを3地区に推進していきます。

総合型地域スポーツクラブの拠点づくりの核となる活動は、

- ①地域に密着した子どもから高齢者・障がい者も参加できる地域コミュニティを整備します。
- ②保護者や地域住民・学校関係者の協創による運動やスポーツによる教育コミュニティを創出します。
- ③地域住民全ての健康・体力の維持増進を目指した健康コミュニティのネットワークを醸成します。

を目指します。

## 3 計画の位置づけ

- (1) 基本計画は、平成27年8月に策定された第二次加美町総合計画及び平成27年9月に策定された第二次加美町生涯学習計画を発展させたものであり、スポーツ推進施策を体系化したものです。
- (2) 基本計画は、平成23年8月に施行されたスポーツ基本法第10条に基づくスポーツ推進基本計画です。
- (3) 基本計画は、10年間の長期計画(令和2年度～令和11年度)として位置づけます。

## 4 計画の期間

計画の期間は、令和2年度から令和11年度までの10年間としますが、計画の進捗状況、社会情勢、国の政策動向等の変化に対応するため、策定後5年を目処に中間見直しを行い、運動やスポーツに対する欲求、町民の要望を計画に反映することに留意していきます。

## Ⅱ 第1期計画の内容

### A. 生涯スポーツの啓発事業の実施

#### 1. スポーツ教室やイベントの開催（A-1）＜優先度1＞

運動やスポーツを実施する機会が中々ない町民の中には、運動やスポーツを狭く限定して捉え、自分のライフスタイルに合わないものと考えている場合も多いことが予想されます。そのような町民に対しては運動やスポーツ活動には競技的なスポーツだけでなく、自分の体力向上やストレス解消等を目的としたイベントの開催など、誰でも気軽に楽しめる運動やスポーツの機会を提供できるようスポーツ団体等と連携していきます。

##### ◆現 状

##### 1. スポーツ教室

- ①子どもを対象としたスポーツ教室（NPO法人かみジョイ、各地区公民館）
- ②成人を対象としたスポーツ教室（NPO法人かみジョイ、㈱オーエンス、各地区公民館）
- ③高齢者を対象としたスポーツ教室（NPO法人かみジョイ、㈱オーエンス、各地区公民館、包括支援センター）

##### 2. イベント

- ①中新田スポーツフェスティバル、
- ②小野田地区5種スポーツ大会、
- ③宮崎地区総合スポーツ大会、
- ④各地区町民運動会、
- ⑤障がい者レクリエーション大会、

##### ◆展 開

##### 1. スポーツ教室

- ①各関係機関による種目の検討や役割分担の連携・調整
- ②多様なプログラムの展開

##### 2. イベント

- ①多様なプログラムの展開
- ②実行委員会における企画運営の充実
- ③子どもから高齢者、障がい者の多くの町民が参加しやすい企画内容の検討

#### 2. 体力・運動能力調査の実施（A-2）＜優先度1＞

自分の健康・体力の状況や改善点について理解を促す健康・体力診断ができる出前講座の機会を提供します。この出前講座には、簡単な講習会も同時に企画し、あわせて講座終了後に、各自の健康や体力の状況に応じて運動やスポーツができる機会や場所の情報提供も行います。

##### ◆現 状

- ①体力運動能力調査（宮城県依頼、スポーツ推進室、対象：成年及び高齢者）
- ②体力運動能力調査（宮城県依頼、小・中学校実施、対象：児童及び生徒）

- ③運動適性テスト（町スポーツ少年団、対象：スポーツ少年団員）
- ④体力・運動能力調査（NPO法人かみジョイ、対象：成人及び高齢者）

◆展 開

- ①スポーツ団体及び保健福祉課等関係部署との連携による「体力・運動能力調査、健康相談」の実施
- ②体力・運動能力調査結果の個人及び全体データ管理
- ③成人や高齢者を対象とした体力・運動能力調査の実施及び調査の評価・管理
- ④体力・運動能力調査結果データを活用した事業の展開

### 3. 運動やスポーツ、健康に関する講演会等の開催（A-3）＜優先度2＞

町民に運動やスポーツ、健康に関する効率的な実施方法等の情報を伝えていくためには、子どもの発育発達や成人・高齢者の健康づくりなど、各種講演会や研修会の充実が必要です。講演会等に参加することにより、新たな情報が得られ、運動やスポーツをすることの動機づけが高まると考えられます。

◆現 状

- ①町スポーツ少年団修了式時に「最高の準備は“食”にあり」の題で実施
- ②生涯スポーツ講演会の実施

◆展 開

運動やスポーツ、健康に関する講演会等の実施

### 4. 生涯学習カレンダーの毎戸配布・情報誌の配布及びホームページの活用（A-4）＜優先度1＞

町内で行われているスポーツ活動の機会に関する情報提供が充分ではないため、スポーツ情報の一部スポーツ実施者への偏りや、事業終了後にそのような機会があったことを知ることもし少ない状況にあります。町内で行われている各種スポーツ大会やイベント等のプログラムを可能な限り生涯学習カレンダーに盛り込むとともに、情報誌を配布することによって町民に周知するよう努めます。また、インターネットを活用し町や団体のホームページに情報を提供し、掲載内容の充実を図ります。

◆現 状

- ①生涯学習カレンダーの毎戸配布
- ②情報誌の配布
- ③町ホームページの活用

◆展 開

- ①生涯学習カレンダーを活用した運動やスポーツ情報の充実
- ②町及びスポーツ団体のホームページの充実

## B. スポーツ・レクリエーション活動支援事業の推進

### 1. 多様なスポーツイベントの提供（B-1）＜優先度1＞

本町では、各種イベントが数多く提供されております。一方でこれらの事業の中には、参加者が集まりにくいイベントや参加者が固定化したイベントも見受けられます。今後におけるスポーツイベントは、体力や年齢に応じて幅広く、多くの町民が気軽に参加できる運動やスポーツ、交流大会の企画を考えていかなければなりません。そのために、町内スポーツ団体や関係組織が提供しているスポーツイベントの精選と充実・拡大に向けた検討が求められます。

#### ◆現 状

スポーツイベント

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| ①ドラゴンカヌー大会  | ②やくらいクロスカントリースキー大会  |
| ③雪合戦大会      | ④やくらいハッピーランニング      |
| ⑤スポーツ協会事業   | ⑥スポーツ少年団事業          |
| ⑦スポーツ関係団体事業 | ⑧チャレンジウィーク（チャレンジデー） |

#### ◆展 開

1. 開催目的、参加実績及び参加者の満足度を考慮しての各種スポーツイベントの精選や充実・拡大
2. 全町民を対象としたスポーツイベントの充実
  - ◆スポーツを「する」「みる」「支える」の活動推進
3. スポーツイベント情報交換会の開催

### 2. ニュースポーツ・ファミリースポーツの普及・啓発（B-2）＜優先度1＞

生涯スポーツの理念である、だれでも参加することができるスポーツ環境の創出のために、ニュースポーツの普及事業や家族で参加できるファミリースポーツの充実を図ります。特に、ファミリースポーツの充実では、子どもや保護者が一緒に活動できるスポーツ種目の導入やルールの工夫、こどもの日や体育の日のイベントの充実を図ります。

#### ◆現 状

##### ①ニュースポーツ

- ・ミニディサービス時のニュースポーツ体験
- ・行政区民を対象としたニュースポーツ体験
- ・PTC事業でのニュースポーツ体験

##### ②ファミリースポーツ

- ・やくらいクロスカントリースキー大会
- ・50mダッシュ王選手権
- ・リバーサイドフェスティバル in 加美
- ・やくらいハッピーランニング
- ・カヌー体験会

◆展 開

①ニュースポーツ

- ・ミニデイサービス時のニュースポーツ体験
- ・行政区及び地区コミュニティを対象としたニュースポーツ体験
- ・(仮称) ニュースポーツフェスティバルの開催

②ファミリースポーツ

- ・豊かな自然環境を活用したウォーキング、トレッキング、サイクリング、カヌーなどの普及

3. エコロジカルスポーツイベントの開催 (B-3) <優先度2>

本町の有する豊かな自然環境を活用し、競争を目的としない、自然の中でのんびり楽しむスポーツである「エコロジカルスポーツイベント」の開催を検討します。

スポーツを楽しむだけでなく、自然と親しみ、自然を学ぶようイベントを企画するとともに、町内外へ情報発信機能を持つスポーツイベントとして位置づけ推進していきます。

◆現 状

- ①ドラゴンカヌー大会
- ②やくらいクロスカントリースキー大会
- ③やくらいハッピーランニング
- ④リバーサイドフェスティバル in 加美

◆展 開

- ①アウトドアスポーツ事業の開催
- ②船形山及び「千古の森」森林空間活用施設を活用した自然体験事業の開催

C. スポーツニーズへの幅広いプログラム提供

1. 子どもの運動やスポーツ活動の推進 (C-1)

(1) すべての子どもが参加できる遊びとスポーツ活動の支援 (C1-1) <優先度1>

少子化並びに社会的環境の変化により、子どものライフスタイルも変化し、家の中での一人遊びが増加しているなどの休日の過ごし方が問題になっています。子どもの体力をめぐってはその低下が大きな課題の一つとなっています。これらの課題に対応するために、地域の子どもの誰もが参加できる遊びとスポーツ活動の機会の創出のため、スポーツプログラムを検討します。

◆現 状

- ①放課後児童クラブ (厚生労働省管轄)
- ②カヌー体験教室
- ③放課後子ども教室推進事業 (文部科学省管轄)
- ④公民館主催教室
- ⑤かのはらっこクラブ (鹿原地区公民館事業)
- ⑥ボルダリング

◆展 開

- ①子どもを対象にした多様なスポーツプログラムの提供



(カヌー教室・ヒップホップダンス教室・ボルダリング体験教室)

- ②「(仮称) いつでも どこでも チャレンジスポーツ」の開催
- ③各種関係団体によるスポーツプログラムの情報交換会の開催

## (2) アスリートふれあい教室の開催 (C1-2) <優先度2>

児童期から中学校期は高度なスポーツ能力を高めるための重要な時期であり、専門的な指導が求められます。児童期から中学校期程度の子どもを対象に、アスリートふれあい教室を開催します。また、この教室に地域のスポーツ指導者や学校の教員の参加も促し、指導者の研修の場としても検討していきます。

### ◆現 状

- ①こころのプロジェクト「夢の教室」
- ②キリン「サッカー教室」

### ◆展 開

- ①こころのプロジェクト「夢の教室」
- ②ベガルタ仙台「サッカー教室」
- ③仙台89ERS「バスケットボール教室」
- ④リガーレ仙台バレーボール教室
- ⑤楽天野球団「野球教室」
- ⑥陸上競技実業団選手及び大学生選手によるジュニア陸上競技教室の開催

## 2. 成人における健康・体力づくりの充実 (C-2)

### (1) 三地区スポーツ交流大会等への参加促進 (C2-1) <優先度1>

町民の健康・体力づくりの向上を図るために、三地区でそれぞれスポーツ交流大会が開催されておりますが、成人の運動やスポーツ離れによる参加者の低下が課題に上げられております。これらの課題に対応するため各地区実行委員会等と検討し、運動やスポーツを実施する機会に恵まれない成人が、気軽に参加しやすいようなスポーツ環境を整備し参加促進を図ります。

### ◆現 状

- ①中新田スポーツフェスティバル
- ②小野田地区5種スポーツ大会
- ③宮崎地区総合スポーツ大会
- ④各地区町民運動会

### ◆展 開

- ①各地区スポーツ交流大会等での多様なプログラムの提供
- ②実行委員会における企画運営の充実

## 3. シニア世代における健康・体力づくりの充実 (C-3)

### (1) 健康・体力づくり事業の充実 (C3-1) <優先度1>

高齢期の健康的な生活を築くために、生活習慣病の予防のための中高齢者向けの健康づくり事業の充実を図ります。また、高齢者の身体状態や体力に応じて、運動やスポーツへの参加のきっかけとなる、各種健康づくり教室などの提供を行います。

◆現 状

- ①シニア世代を対象とした運動やスポーツ事業
  - ・ほがらかスポーツ教室      ・シニアスポーツ教室      ・シニア体力アップ教室
- ②スポーツイベント
  - ・ゲートボール大会                      ・グラウンドゴルフ大会（老人会）
  - ・ペタンク大会（老人会）

◆展 開

- ①シニア世代を対象とした運動やスポーツ教室の充実
  - ・運動やスポーツ教室の充実
  - ・健康・体力づくり教室の充実
  - ・ミニデイサービスと連携した運動普及事業の推進
  - ・スポーツ団体（パークゴルフ協会、グラウンドゴルフ協会、ゲートボール協会）と連携したシニア世代のスポーツ事業推進
- ②シニア世代を対象とした体力・運動能力調査の実施及び調査結果の評価・管理
- ③健康、運動及びスポーツイベントの開催
  - ・スポーツ関係団体との連携による運動・スポーツに関する実技講習会や講演会の実施（ウォーキング、トレッキング等）
- ④シニアスポーツリーダーの育成
  - ・中高齢者を対象としたシニア世代スポーツ活動のスポーツリーダー育成

(2) 各種交流大会等の開催（C 3-2）＜優先度 3＞

中高齢者の中には健康・体力づくりを目的にするだけでなく、運動やスポーツを楽しむことを目的としている人もいますので、自分の活動の成果や自分の技能レベルを確認する機会となる交流大会等の開催を町内スポーツ団体と検討いたします。

◆現 状

- ①やくらいマスターズアルペンスキー大会

◆展 開

- ①各種交流大会等の実施

(3) 体力・運動能力調査及び相談支援事業の実施（C 3-3）＜優先度 1＞

地域で定期的に体力・運動能力調査や健康維持・増進の相談支援ができる環境は、高齢期になっても健康的な地域生活を送るために欠かすことができません。町内スポーツ団体組織だけでなく、行政関係各課と連携を図り推進していきます。

◆現 状

体力・運動能力調査（NPO法人かみジョイ、対象：65歳以上）

◆展 開

- ①65歳以上を対象とした体力・運動能力調査の実施及び調査結果の評価・管理
- ②健康維持・増進に関する相談支援の実施

#### 4. 障がい者スポーツの推進（C-4）

##### （1）障がい者スポーツプログラムの提供（C4-1）＜優先度1＞

障害を持つ方にとって運動やスポーツは、リハビリテーションや福祉的な観点にとどまらず、健常者と同様に、誰でもが生涯にわたり、身近な地域で運動やスポーツを楽しめるという環境整備が必要です。また、障害を持つ方の運動やスポーツを支援するために、スポーツ交流大会や運動・スポーツ教室、健康づくり教室等の情報提供と、気軽に参加のできる支援体制を関係機関と協力し推進していきます。

###### ◆現 状

- ①障がい者レクリエーション大会（町身体障害者福祉協会）
- ②障がい者カヌー体験会（町、B&G財団）
- ③リバーサイドフェスティバル in 加美（町、B&G財団）

###### ◆展 開

- ①関係機関及びスポーツ団体との連携による教室・イベント等の開催と支援
- ②専門的な指導者やボランティアの養成

##### （2）運動やスポーツ交流会等の実施（C4-2）＜優先度1＞

現在、年間を通して開催されているイベントや各種交流会等を利用し、障がい者の方が興味を持ち、楽しく参加できるような内容や種目を町内のスポーツ団体等と連携し推進していきます。

###### ◆現 状

- ①加美町カップドラゴンカヌー大会（実行委員会）
- ②雪合戦大会（実行委員会）
- ③やくらいクロスカントリースキー大会（実行委員会）
- ④各種スポーツ団体が主催する大会等

###### ◆展 開

- ①障がい者が興味を持ち、楽しく参加できる種目やカテゴリーの検討
- ②町内スポーツ団体等との連携や情報の共有

#### D. スポーツ団体組織の育成と充実

##### 1. スポーツ協会への支援（D-1）＜優先度1＞

スポーツ協会は、町民の健康増進を図るとともに各競技団体の支援を行う中心的組織です。今後、さらなる活動の充実と活性化を推進して行くためには、自主的な運営の確立と自主財源の確保などに努め、関係機関との協力体制の強化と情報収集に努めていかなければなりません。これらを推進するために連携を密にし支援して行きます。

###### ◆現 状

スポーツ協会の自主運営及び自主事業を目指し職員の配置と事務所の移転

###### ◆展 開

- ①スポーツ協会の自主運営及び自主事業開催の検討

- ②スポーツ協会の資質向上を目的とした研修会の開催
- ③公認スポーツ指導者情報の収集及び整備
- ④自主財源確保に係る調査研究
- ⑤加盟協会加入クラブ及び団体に関する情報の収集
- ⑥加盟協会ごとの新規会員確保の検討

## 2. スポーツ少年団への支援（D-2）＜優先度1＞

スポーツ少年団の単位団の中には、指導者の継続性や人材不足に悩む少年団も出ており、指導者の確保が大きな課題となっています。また、スポーツ少年団への加入率は県内の市町村と比較して上位に位置していますが、中には団員確保が大きな課題となっている単位団も見受けられます。これらの課題は、スポーツ少年団の活動を支援することに消極的な母集団等の問題や、過度な練習日数、一部の団に見られる極度に勝利を目指した活動など、スポーツ少年団の運営に関する問題などがその背景にあります。そのためスポーツ少年団活動内容の指導や考え方についての指導者や母集団を対象とした研修会などを開催します。また、スポーツ少年団の指導者個々の負担を少なくするため新たな指導者の養成も行います。さらに、スポーツ少年団と行政・関係団体・学校との連携を図るため情報交換会の充実を図ります。

### ◆現 状

- ①スポーツ少年団と学校との連携を図るため情報交換会を開催
- ②指導者及び母集団の資質向上を目的とした研修会・講習会の開催
- ③スポーツ少年団の自主運営及び自主事業開催を目指し職員を配置

### ◆展 開

- ①スポーツ少年団の自主運営及び自主事業開催の検討
- ②町スポーツ少年団と地区スポーツ少年団の役割の明確化
- ③スポーツ少年団指導者及び母集団の資質の向上
  - ・全指導者のスポーツ少年団認定員資格取得及び認定育成員の育成
  - ・指導者及び母集団の資質向上を目的とした研修会の開催
  - ・スポーツ少年団と行政・学校など関係団体との地情報交換会の充実
  - ・指導者の後継者確保の検討

## 3. 地区スポーツ交流会等への支援（D-3）＜優先度1＞

地区スポーツ交流会は、将来的に地域コミュニティの中核組織として発展が期待されます。地区スポーツ交流会では、現在行われている事業の硬直化や事業への参加者も増えないといった問題も生じています。誰でも体力や技術に関係なく気軽に参加できる事業内容の検討はもとより、生活習慣病などの健康関連情報の提供による健康づくりやスポーツをするための動機づけの促進、地区スポーツ交流会事業拡充のための財源確保、事業展開に必要な人材育成などの支援策を展開します。

### ◆現 状

- ①地区スポーツ交流会

- ・ 中新田スポーツフェスティバル
- ・ 小野田地区五種スポーツ大会
- ・ 宮崎地区総合スポーツ大会

②地区町民運動会

◆展 開

- ①気軽に参加できるプログラムの検討と情報収集
- ②地区スポーツ交流会等実行委員会の充実
- ③地区におけるボランティアスタッフの養成と発掘

4. スポーツ推進委員への支援（D-4）〈優先度1〉

スポーツ推進委員は、スポーツ振興基本計画の実現に向けた中核的な役割を担うとともに、運動やスポーツの普及・啓発をするためのコーディネーターとして期待されています。また、総合型地域スポーツクラブの支援団体として積極的に関わっていき、さらには、3地区スポーツ交流大会等の充実の実現に向けて推進して行くためには、高い専門的能力の養成とさらなる意識改革が必要であり、今後、研修会等への派遣や内部研修を行います。

◆現 状

- ①スポーツ推進委員定例会の開催
- ②スポーツ推進委員の専門的能力向上を目的とする各種研修会への参加

◆展 開

- ①スポーツ推進委員の資質向上を目的とする各種研修会派遣及び内部研修会の実施
- ②総合型地域スポーツクラブの運営と支援
- ③スポーツ推進委員の一部公募制導入

5. 生涯スポーツ普及員への支援（D-5）〈優先度1〉

生涯スポーツ普及員には、地区における生涯スポーツの推進やスポーツ事業の充実に向けた活動が期待されます。このため、役割を明確にするとともに、生涯スポーツ普及員相互の交流やスポーツ情報の提供・研修会により、スポーツイベントの企画能力の向上を図ります。

◆現 状

生涯スポーツ普及員の資質向上を目的とした研修会の開催

◆展 開

- ①スポーツ事業に関する情報の提供
- ②生涯スポーツ普及員の資質向上を目的とした研修会の開催
- ③生涯スポーツ普及員協議会活動の活性化並びに活動内容の検討
- ④総合型地域スポーツクラブとの連携・協力の推進

## 6. 総合型地域スポーツクラブの質的充実（D-6）〈優先度1〉

町民が種目を超えて運動やスポーツを「する」「ささえる」仕組みとして、総合型地域スポーツクラブが持続的に地域スポーツの担い手としての役割を果たしていくために質的な充実を推進していくよう支援していきます。

### ◆展 開

- ①総合型地域スポーツクラブの新たな質的な充実を模索するための検討や情報収集
- ②総合型地域スポーツクラブの登録・認証等制度の構築に伴う情報収集

## 7. スポーツ団体及び健康づくり関連組織との連絡調整（D-7）〈優先度1〉

現在、各種開催されている事業やイベントの中には、開催日の重複や似ている事業・イベントがあり課題になっており、町内スポーツ団体や健康づくり関連組織との情報提供と共有化、事業の連携を図るための調整会議を開くことによって、更なる町民サービスの促進を図ります。

### ◆展 開

- ①運動やスポーツの事業・イベントに関する情報の共有
- ②町内スポーツ団体や健康づくり関連組織との情報交換会の開催

## E. 運動やスポーツによる地域コミュニティの推進

### 1. 全町的なスポーツイベントの開催（E-1）〈優先度1〉

本町においての全町的なスポーツイベントとしては、チャレンジデーやチャレンジウィークの実施が上げられるが、地域全体が一体感を増し地域コミュニティの形成や活性化に繋がるよう地域間の交流の場を創出して行きます。

#### ◆現 状

- ①チャレンジウィークの実施

#### ◆展 開

- ①町内スポーツ団体と連携し、全町的なスポーツイベントの開催
- ②スポーツボランティアの養成と発掘
- ③町民が気軽に参加のできる運動やスポーツ環境の情報収集

### 2. 各種団体の運動やスポーツ活動の支援（E-2）〈優先度1〉

各種団体（行政区・PTA・子ども会・婦人会・老人会等）が運動やスポーツ、レクリエーション活動を実施する際に支援ができるよう、情報提供や指導者派遣等の環境整備を推進していきます。

#### ◆現 状

- ①加美町体育施設等指定管理者による指導者派遣

#### ◆展 開

- ①町民の多様なニーズに対応するため、町内スポーツ団体による運動やスポーツ指導

者の養成及び発掘

②地域コミュニティへの情報提供や指導者派遣等の広報活動の充実

③気軽に参加でき、みんなで楽しめる運動やスポーツ、レクリエーションの情報収集

### 3. 総合型地域スポーツクラブの活性化（E-3）＜優先度1＞

地域コミュニティの幅広い年齢層に対応し、誰でも気軽に参加のできる運動やスポーツ、文化的活動も含めた内容を提供できるよう、運営基盤整備とともに指導者やボランティアスタッフの養成を推進いたします。また、総合型地域スポーツクラブの活動内容等を情報紙やインターネット等を活用し、今まで以上に啓蒙活動を推進いたします。

#### ◆現 状

①情報誌による啓蒙活動の実施

#### ◆展 開

①地域コミュニティの幅広い年齢層に対応するための指導者やボランティアスタッフの養成や発掘

②情報誌やインターネットを活用した啓蒙活動の実施

## F. スポーツ基盤の整備

### 1. スポーツ施設の整備充実（F-1）＜優先度1＞

厳しい財政状況の中、早急に新たなスポーツ施設を整備することは困難な状況にあります。町内スポーツ施設や鳴瀬川カヌーレーシング競技場をはじめとする既存の公共スポーツ施設の効率的な活用策を検討していかねばなりません。利用率の低い時間帯の施設活用策やスポーツ・レクリエーション事業の多様化など様々なニーズに対応するプログラムの展開策とあわせて検討を行います。

#### ◆現 状

町内スポーツ施設を活用した教室やイベントの開催

#### ◆展 開

①公共スポーツ施設の整備充実

- ・加美町中新田B & G海洋センターの整備充実
- ・運動場の改修
- ・スポーツ施設照明のLED化

②広域的な野外活動施設の整備

- ・荒沢自然館
- ・小野田大滝農村公園キャンプ場
- ・「千古の森」森林空間活用施設
- ・田代キャンプ場
- ・いわなの里湖畔公園
- ・ゆ〜らんどキャンプ場

③他市町村の公共スポーツ施設との連携

## 2. 学校施設の開放（F-2）＜優先度1＞

本町におけるスポーツ活動は、陶芸の里スポーツ公園や中新田体育館、小野田体育館などのスポーツ施設を拠点として、日常的に展開されています。ただし、スポーツ少年団では、小学校が日常生活圏内にあり、学校を拠点とした活動が数多く行われています。今後、より多くの町民やスポーツ団体が身近な施設として学校施設を利用できるようにするため、利用の方法など学校施設の運営方法等の工夫が必要となります。また、学校施設を運営する「(仮称)学校施設開放運営協議会」を設置して組織化を図ることにより、地域の子どもの地域で大人が育てていく教育コミュニティの役割を持ちます。

「(仮称)学校施設開放運営協議会」は、以下の事柄について検討を行います。

- (a) 学校施設の利用に関することや運営方法に関すること。
- (b) 余裕教室などの利用の促進に関すること。
- (c) その他必要事項

また、社会状況や町の財政状況等を勘案しながら以下の事柄についても検討する。

- (d) 学校の付属施設（夜間照明・シャワー・ロッカー・クラブハウスなど）の充実を図ること。
- (e) 未開放の高等学校の開放を促進すること。

### ◆現 状

学校施設開放利用者説明会の実施

### ◆展 開

①学校施設開放の現状調査の実施

②学校施設開放管理事業に伴う教育関係機関との調整会議の実施

## 3. 運動やスポーツの指導者養成（F-3）

### (1) 種目別指導者の養成（F 3-1）＜優先度1＞

運動やスポーツに対するニーズは、子ども、成人、高齢者、障がい者などを対象とした事業やイベントのニーズに対応していくために、指導者の資質向上を図る講習会や研修会を開催します。また、どのような団体がどのような資格を付与しているかなどの情報を収集するとともに、養成された運動やスポーツの指導者能力を活かせるよう活動場所・機会の充実や、指導者への依頼・派遣方法の検討を行います。

### ◆現 状

①スポーツ少年団認定員養成講習会への参加

②各種公認スポーツ指導者資格取得講習会への参加

### ◆展 開

①公認スポーツ指導者の養成

②公認スポーツ指導者協議会の設置



## (2) 町独自の指導者・ボランティアの養成 (F 3-2) <優先度1>

さまざまな種目や年代を対象とした事業やイベントを実施するには、既存の指導者資格や制度だけでは十分な指導者を確保することは困難です。新たな指導者を発掘するために、各スポーツ団体と連携しながら、町独自の工夫した指導者養成が必要と考えます。

また、地域スポーツ交流会の運営、スポーツイベントや地域スポーツクラブのスタッフとして、活動の企画運営や支援に関わるボランティア・スタッフの養成を図ります。

### ◆展 開

- ①町独自の指導者養成講習会や研修会の開催
- ②地域活動ボランティア・スタッフの養成

## (3) スポーツ推進委員・生涯スポーツ普及員の資質向上 (F 3-3) <優先度2>

生涯スポーツの推進役及びコーディネーターとして活躍が期待されているスポーツ推進委員の資質向上を図る講習会や研修会を開催するとともに、地域及び行政区における生涯スポーツ推進役・スポーツ事業の企画運営を期待されている生涯スポーツ普及員の資質向上のための講習会や研修会を開催します。この事業はスポーツ推進委員への支援 (D-4)、生涯スポーツ普及員への支援 (D-5) と同じ内容であります。

### ◆現 状

- ①スポーツ推進委員の専門的能力向上を目的とする各種研修会への参加
- ②生涯スポーツ普及員の資質向上を目的とした研修会の開催

### ◆展 開

- ①スポーツ推進委員の資質向上を目的とした講習会や研修会の実施
  - ・総合型地域スポーツクラブ支援に対する資質の向上
  - ・生涯スポーツ推進に関する知識、技能の習得
  - ・生涯スポーツに関する情報収集及び資料の提供
- ②生涯スポーツ普及員の資質向上を目的とした講習会や研修会の開催
  - ・地区及び行政区におけるスポーツ活動推進に関する情報収集及び資料提供
  - ・生涯スポーツ普及員相互の意見及び情報交換
  - ・総合型地域スポーツクラブとの連携及び生涯スポーツの普及・推進

## (4) 指導者及びボランティア人材情報の収集 (F 3-4) <優先度2>

地域住民に運動やスポーツを親しむ機会を提供するためには、今まで以上の指導者やボランティアが必要になります。そのような人材を発掘するためにも他関連機関と連携し、地域等からの情報収集に努めます。

### ◆展 開

- ①他関連機関と連携し、指導者及びボランティア人材情報の収集

(5) 生涯学習及び健康関係各課とのスポーツ人材情報の共有 (F 3-5) <優先度2>

町では、スポーツ推進の他に公民館活動や健康推進活動のようにそれぞれ独自で運動やスポーツを活用し、事業やイベントを実施している場合も多くあります。

スポーツリーダーバンクは、生涯スポーツ推進を主たる目的としていますが、生涯学習、健康・体力づくりにも関連することから、スポーツ推進だけでなく生涯学習及び健康関係各課とも連携を図ります。

指導者等の人材情報の共有化によって、活動の場が広がるとともに、様々な町民のニーズに対応できるよう効率的で効果的な情報提供を図って行きます。

◆現 状

- ①生涯学習及び健康関係各課が独自で、運動やスポーツの事業やイベントを実施

◆展 開

- ①生涯学習、健康関係各課との情報の共有化
- ②人材情報の収集

3. 運動やスポーツの情報収集と提供 (F-4)

(1) 町民の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査の実施 (F 4-1) <優先度1>

町民から直接、意見をうかがう手段として、運動・スポーツ実施状況に関する実態調査を行い、今後の具体的な行動計画の策定を可能にし、事業やイベントの内容や連携調整を図ります。

◆現 状

- ①運動・スポーツ実施状況に関する実態調査の実施
- ②公共体育施設利用者への満足度調査実施

◆展 開

- ①今後の具体的な行動計画の策定
- ②各種団体との連携や情報の共有化

(2) スポーツ団体や関係組織からの情報収集の検討 (F 4-2) <優先度1>

町民の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査などにより町民から直接収集される情報とともに、実際に活動している町民及び団体からの情報収集も必要になります。町スポーツ協会に加盟している団体、スポーツ少年団単位団、その他スポーツ団体が、現在の活動状況や抱えている問題等を定期的に情報共有する場の提供を検討します。

◆展 開

- ①スポーツ団体や関係組織を対象とした情報交換会の開催

(3) 生涯スポーツ関連ホームページの充実 (F 4-3) <優先度2>

情報化が進む中、インターネットを通してスポーツ情報を入手する町民もさらに増えてくることが予想されるため、生涯スポーツ関連のホームページの充実を図ります。

ホームページには、スポーツ施設、学校施設の開放・利用状況、スポーツクラブ・サークル紹介、手軽にできる健康づくりプログラムの紹介、スポーツプログラム（各種スポーツ教室・イベント情報）などの情報を掲載します。

◆現 状

加美町ホームページへ、イベント情報や結果を掲載

◆展 開

- ①加美町ホームページ生涯スポーツ情報の充実
  - ・スポーツイベント及びスポーツ教室情報の掲載
  - ・ホームページを利用した町民の要望、ニーズの収集
- ②各種団体ホームページ等の充実
  - ・スポーツ教室やイベント情報の掲載
  - ・ホームページ等を利用した町民の要望、ニーズの収集

(4) 運動・スポーツ情報の整理と蓄積（F 4-4）＜優先度1＞

スポーツ団体や組織は、町民のスポーツ活動に関する情報や、各種スポーツ事業の成果に関する情報を持っています。これまで教育委員会では、これらの情報を収集し資料としてまとめてきました。この情報収集は年次活動報告書としてまとめられますが、より詳細な情報を収集して、継続的に蓄積していくことが情報公開や説明責任を果たすことにつながります。

◆現 状

各スポーツ団体からの事業報告書等の情報収集の実施

◆展 開

- ①スポーツ団体及び組織の年次活動報告書の作成
- ②社会教育委員会（社会体育部会）やスポーツ振興基本計画推進委員会による評価

## G. 行政運営の創意工夫

### 1. スポーツ行政の総合的な推進（G-1）＜優先度1＞

生涯スポーツは、体力の維持・向上、健全な心の育成、家庭や地域コミュニティの絆を深めるなど、町民の豊かで潤いのある生活基盤づくりに広く関わっているため、教育、健康づくり、福祉の各関係課が連携、協力して生涯スポーツの総合的な推進を図るよう働きかけ、各関係課間の調整会議を提案していきます。

また、スポーツ推進施策の具体的な検討は、必要に応じて、町スポーツ推進基本計画推進委員会メンバーを中心に検討していきます。

◆現 状

各関係課ごと、独自に事業やイベントを実施

◆展 開

①行政関係課による調整会議

- ・保健福祉課、地域包括支援センター及び各福祉センターとの連携推進  
※運動、スポーツ事業（イベント及び教室等）の調整や協力
- ・町内小中学校との連携推進

②町スポーツ推進基本計画推進委員会の活用充実

2. 地域におけるスポーツ推進体制の充実（G-2）＜優先度1＞

地域コミュニティの機能を充実させるためには、地域におけるスポーツ推進体制の充実が必要になり、現在、地域で行われている単発的なスポーツ事業だけでなく、その事業を充実しつつ活動を拡大していく段階が極めて重要になります。

これらを推進していく上で、スポーツ推進委員をはじめとし、各種の指導者とボランティア、行政関係各課職員などから構成される「（仮称）地域スポーツ推進協議会」を3地区それぞれに設置できるよう検討いたします。

◆現 状

それぞれの三地区スポーツ交流大会実行委員会で、種目や内容を検討し実施

◆展 開

①「（仮称）地域スポーツ推進協議会」の設置

- ・（仮称）中新田地域スポーツ推進協議会
- ・（仮称）小野田地域スポーツ推進協議会
- ・（仮称）宮崎地域スポーツ推進協議会

Ⅲ 第二次加美町スポーツ推進基本計画 ～第1期計画アクションプランの概要～

第二次加美町スポーツ推進基本計画は、A.生涯スポーツの啓発事業の実施、B.スポーツ・レクリエーション活動支援事業の推進、C.スポーツニーズへの幅広いプログラム提供、D.スポーツ団体組織の育成と充実、E.運動やスポーツによる地域コミュニティの推進、F.スポーツ基盤の整備、G.行政運営の創意工夫という柱から構成されています。それらの詳細を10年間の期間に当てはめられたものが第二次加美町スポーツ推進基本計画～第1期計画アクションプランの概要～であります。

◆加美町スポーツ推進基本計画第1期計画には記述されていないが必要になると思われる事業及び委員会を含む ※【 】内は優先度を示している

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
A 生涯スポーツの啓発事業の実施	A-2 体力・運動能力調査の実施【1】《R2～》 A-3 運動やスポーツ、健康に関する講演会等の開催【2】《R2～》 A-4 生涯学習カレンダ－の毎戸配布・及びホームページの活用【1】《R2～》	A-1 スポーツ教室やイベントの開催【1】《R3～》	【1】《R3～》		
B スポーツ・レクリエーション活動支援事業の推進	B-3 エコロジカルスポーツイベントの開催【2】《R2～》	B-1 多様なスポーツイベントの提供【1】《R3～》 B-2 ニュースポーツ・ファミリースポーツの普及・啓発【1】《R3～》	【1】《R3～》		
C スポーツニーズへの幅広いプログラム提供	C1-2 子どものアスリートふれあい教室の開催【2】《R2～》 C3-3 シニア世代における体力・運動能力調査及び相談支援事業の実施【1】 C4-1 障がい者スポーツプログラムの提供【1】《R2～》 C4-2 障がい者における運動やスポーツ交流会等の実施【1】《R3～》	C1-1 すべての子どもが参加できる遊びとスポーツ活動の支援【1】《R3～》 C2-1 成人における三地区スポーツ交流大会等への参加促進【1】《R4～》 C3-1 シニア世代における健康・体力づくり事業の充実【1】《R4～》 C3-2 シニア世代における各種交流大会等の開催【3】《R4～》	【1】《R3～》		
D スポーツ団体組織の育成と充実	D-1 スポーツ協会への支援【1】《R2～》 D-2 スポーツ少年団への支援【1】《R2～》 D-3 地区スポーツ交流会への支援【1】《R2～》 D-4 スポーツ推進委員への支援【1】《R2～》 D-5 生涯スポーツ普及員への支援【1】《R2～》 D-6 総合型地域スポーツクラブの質的充実《R2～》 D-7 スポーツ団体及び健康づくり関連組織との連絡調整《R2～》	D-1 障がい者における運動やスポーツ交流会等の実施【1】《R2～》 C4-2 障がい者における運動やスポーツ交流会等の実施【1】《R3～》	【1】《R3～》		
E 運動やスポーツによる地域コミュニティの推進	E-3 総合型地域スポーツクラブの活性化《R2～》	E-2 各種団体の運動やスポーツ活動の支援《R3～》	【1】《R3～》		
F スポーツ基盤の整備	F-1 スポーツ施設の整備充実【1】 F-2 学校施設の開放【1】 F3-1 種目別指導者の養成【1】《R2～》 F3-2 町独自の指導者・ボランティアの養成【1】《R3～》 F3-3 スポーツ推進委員、生涯スポーツ普及員の資質向上【2】《R2～》 F3-4 指導者及びボランティア人材情報の収集【2】《R2～》 F3-5 生涯学習及び健康関係各課とのスポーツ人材情報の共有【2】《R2～》	F3-2 町独自の指導者・ボランティアの養成【1】《R3～》	【1】《R3～》		
G 行政運営の工夫	F4-2 スポーツ団体や関係組織からの情報収集の検討【1】《R2～》 F4-3 生涯スポーツ関連ホームページの充実【2】《R2～》 F4-4 運動・スポーツ情報の整理と蓄積【1】《R2～》 G-1 スポーツ行政の総合的な推進【1】	F4-2 スポーツ団体や関係組織からの情報収集の検討【1】《R2～》 F4-3 生涯スポーツ関連ホームページの充実【2】《R2～》 F4-4 運動・スポーツ情報の整理と蓄積【1】《R2～》	【1】《R3～》		
				G-2 地域におけるスポーツ推進体制の充実【1】《R4～》	
					F4-1 町民の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査の実施【1】《R6～》

## IV 第1期計画の実現に向けて

第一次加美町スポーツ振興基本計画の目標は「週1回のスポーツ実施率50%の実現を目指したマイスポーツ・マイライフの形成と推進」、「生涯スポーツ社会の基盤となる総合型地域スポーツクラブの育成」を目指し、地域生活に密着した「地域コミュニティ」、子どもの遊びやスポーツを支援する「教育コミュニティ」、地域住民の健康・体力の維持増進目指した「健康コミュニティ」の育成の推進に取り組むことを目標にしております。

近年の本町のスポーツを取り巻く環境は大きく変化しています。65歳以上の高齢化率が平成24年度末には30%を超えるなど少子高齢化が急速に進展し、また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災ではスポーツ活動においても大きな影響を受けました。

第1期計画では目標達成のベースとなる従来のスポーツ推進の体制であります行政主導システムを町民・法人・民間が中核となるよう個別スポーツ事業やスポーツ関係団体の再組織化の検討が早急に求められます。

第1期計画における教育委員会スポーツ推進室が担う役割は重要であり、限られた人的・財政的・物的な行政資源の有効活用に向けてビジョンを示さなければなりません。特に行政・町民・法人・民間の役割分担を検討する中で、行政の担う役割の範囲を明確にする必要があります。

行政の役割の範囲には多様な考え方ができますが、従来のように行政が個別スポーツ事業の企画運営に集中する状況は避けなければなりません。個別のスポーツ事業の企画運営は、出来る限り民間に移譲して、行政は住民主導による開かれたスポーツ推進システムの創造や組織の改編、スポーツ協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、地区スポーツ交流会などの町内スポーツ組織の育成・支援に重点を移行すべきと考えます。

また、スポーツ施設の整備充実、効率的なスポーツ施設の利用策、公共性を担保した指定管理者スポーツ施設の管理運営、スポーツ推進委員や生涯スポーツ普及員、スポーツ活動指導者の養成及び育成、スポーツ情報の提供、スポーツ関係団体の連携促進、公的及び民間団体（toto・笹川スポーツ財団等）のスポーツ支援に関する情報収集、総合的スポーツ行政の展開などは、行政の重要な責務であります。

スポーツ推進委員は非常勤公務員として、単なる行政事業の企画・実施に係る補助的な役割を担うだけでなく、一貫して各種スポーツ事業の企画運営を担うことができる自立した組織として発展していく必要があります。とりわけ加美町スポーツ推進委員には、全町的事業の企画運営以上に地区スポーツ交流会事業の充実、地域コミュニティや教育コミュニティ実現に向けた取り組みを通じて、総合型地域スポーツクラブが中心的役割を果たすことが期待されます。また、このようなスポーツ推進委員の活動が期待できる委員の選出方法についても、公募制の導入など再検討する必要があります。

生涯スポーツ普及員は各行政区に1名設置しています。生涯スポーツ普及員の活動は地区活動に重点が置かれ、全庁的な活動に関する認識が希薄であります。行政区における生涯スポーツ振興の推進役を担う上でも任務を明確化し、生涯スポーツ普及員相互の情報交換を実施するとともに、行政としても積極的な情報提供を行うなど生涯スポーツ普及員の意識向上の方策を検討する必要があります。

スポーツ協会は、これまでの個別競技団体の統轄組織として、加盟協会のスポーツ事業や組織運営の支援に加え、加盟協会連携による新たなスポーツ事業の創造が期待されます。特に、スポーツを実施していない町民を対象としたスポーツ機会の提供に活動を拡充する必要があります。そのための基礎条件となる自主財源確保については、行政からの支援だけでなく、スポーツ協会独自に財源確保をしなければなりません。そのために法人化の取得や事業プログラムも検討する時期にあります。

スポーツ協会は本町のスポーツ推進の中核組織として、町民の健康維持・増進に寄与することと、加えてスポーツ協会加盟協会の意識改革を図る必要があります。前者の町民の健康維持・増進に寄与することについては、健康維持・増進事業の充実に向けたノウハウや人材の支援として具体化されます。後者については加美町スポーツ協会加盟協会の下部組織である各種クラブやサークルの開かれたスポーツ活動に向けた意識改革であります。すなわち、既存のスポーツ愛好者に、スポーツ活動を自分たちの楽しみとしてだけでなく、現在運動やスポーツを行う機会に恵まれない子ども・成人・高齢者、障がい者の町民に運動・スポーツ支援することが町民間のつながりを生み出し、自分自身の学びともなることを理解してもらう働きかけが期待されます。

スポーツ少年団は、スポーツを通して青少年の健全育成を担ってきた組織として、今後さらにその役割は重要になります。しかし、一部の少年団では活動の主役が子どもではなく指導者や保護者になっていたり、過度な練習が続いたりする状況が一部見られます。一方では、団員の不足や指導者の確保が難しい団も見受けられます。

スポーツ少年団本部には、指導者と母集団にスポーツ少年団活動の本来の意義・目的を再確認するとともに活動内容の評価を実施するような環境が必要と考えます。また、子どもを健全に育てる責務を負う指導者には、子どもの豊かな生活や人間関係を醸成するような活動プログラムの構成を考えてもらい、技術や勝利を求める活動だけで成長させるのではなく、地域の子どもや大人との人的交流や団体行動等の体験を通じた活動も望まれます。

子どもの豊かな人間性が育まれるスポーツ環境と活動プログラムを指導者と母集団そして団員たちと模索すべきであり、その際、スポーツ少年団本部や町内スポーツ団体等による指導者養成事業が重要な意味を持つてきます。

さらに、学校関係者もスポーツ少年団で活動している子どもたちに関心を持ってもらい、児童・生徒のスポーツ少年団活動状況を把握するとともに、教育の専門家の立場から活動に対する指導助言や励ましをいただきたいと考えます。そして、学校とスポーツ少年団との綿密な関係を構築できるよう、行政には協議の設定及び連絡体制の整備が求められます。

地区スポーツ交流会については、町民の日常的な生活圏におけるスポーツ・健康づくりの環境として位置づけることができますが、その一方で組織自体は日常生活圏にあるものの、活動は日常的に実施されていないのが現状です。

各地区スポーツ交流会の内容や資源をみると、地域住民が日常的な活動に取り入れることができる状況にあるとはいえません。まずはスポーツプログラムの拡充に着手し、その後、地域住民が日常的な活動に取り入れられるような展開が求められます。

運動やスポーツがもたらす一体感は、地域コミュニティの形成や活性化につながりますが、地域コミュニティを推進していくためには地域に密着する総合型地域スポーツクラブが中核となり、地域住民が気軽に運動やスポーツが行える機会の提供や情報提供を幅広く行う環境づくりが必要になります。そのために指導者やお世話役をしてくれるボランティアスタッフの養成や発掘が必要になります。

「新たな生涯スポーツ環境の創出をめざして」の実現の主役は町民であり、町民自らが「ライフステージに応じたマイスポーツ・マイライフの創出」を志向していく方向で考えていかなければ実現しないと考えます。また、運動やスポーツを通じた健康づくりは、町民自らの冒険心と習慣づけをしなければ達成することはできません。そのためには受益者負担に対する認識を持ってもらうような周知も必要です。

町民自らの「支える（創る）スポーツ」としてのボランティアスタッフ体制づくりについて、行政や既存スポーツ団体組織と検討する必要があります。

最後に、加美町民が気軽に運動やスポーツに親しみ、自分の健康づくりを積極的に行っていこうとする環境づくりは、町民自らが主役となって主体的に行動していくことが第二次加美町スポーツ推進基本計画の実現に繋がります。



加美町スポーツ振興基本計画策定委員会委員

順不同

NO	氏名	所属機関	団体役職名	役職
1	今野 壽美	加美町社会教育委員（加美町体育協会）	社会体育部会 部会長	
2	本田 晃	加美町社会教育委員（加美町スポ少本部）	社会体育部会 部会員	
3	今野 晴朗	加美町社会教育委員（加美町スポーツ推進委員会）	社会体育部会 部会員	副委員長
4	早坂 淑絵	加美町社会教育委員（学識経験者）	社会体育部会 副部会長	副委員長
5	麻生さとみ	加美町社会教育委員（NPO法人かみジョイ）	社会体育部会 部会員	R1.9.1～
6	高橋 宏周	加美町体育協会	副会長	R2.1.1～
7	大枝 敏幸	加美町スポーツ少年団本部	運営委員長	
8	千葉 寿男	加美町スポーツ推進委員会	副会長	委員長
9	角田 浩志	加美町生涯スポーツ普及員協議会	会長	
10	佐々木秀一	NPO法人かみジョイ	副理事長	
11	荒牧 亜衣	仙台大学	講師	アドバイザー
12	馬 佳濛	仙台大学	准教授	アドバイザー

任期：平成30年8月1日から令和2年3月31日まで

## 加美町スポーツ振興基本計画策定委員会審議経過

年	月	日	曜	内 容
30	8	21	火	平成 30 年度第 1 回加美町スポーツ振興基本計画策定委員会 ・委嘱状の交付 ・役員選出（委員長、副委員長）について ・今後のスケジュールについて
	12	12	日	平成 30 年度第 2 回加美町スポーツ振興基本計画策定委員会 ・加美町スポーツ振興基本計画策定アドバイザー委嘱状交付 ・今後スケジュールとアンケート調査実施の方向性について
31	1	26	土	平成 30 年度加美町スポーツ振興基本計画策定委員会役員会 ・第 3 回加美町スポーツ振興基本計画策定委員会審議事項について
	2	14	木	平成 30 年度第 3 回加美町スポーツ振興基本計画策定委員会 ・アンケート調査実施の方向性について ・第二次加美町スポーツ振興基本計画の内容（案）について
	4	22	月	平成 31 年度第 1 回加美町スポーツ振興基本計画策定委員会 ・加美町内の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査の質問事項及び配布・回収方法について
	4	25	木	加美町内の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査の協力依頼 ・加美町生涯スポーツ普及員に実態調査の協力を依頼
1	5	14	火	加美町内の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査の協力依頼 ・加美町スポーツ推進委員に実態調査の協力を依頼
	5	30	木	加美町内の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査実施（7 月 16 日まで） ・無作為抽出者 1,000 人、スポーツ団体協力抽出者 1,000 人
	7	24	水	加美町内の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査の集計と分析を仙台大学に依頼
	10	16	水	令和元年度第 2 回加美町スポーツ振興基本計画策定委員会 ・加美町内の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査の集計と分析の途中経過について ・第二次加美町スポーツ振興基本計画策定（案）について
	10	31	木	加美町内の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査の報告書が仙台大学より加美町に提出
2	12	26	水	加美町内の運動・スポーツ実施状況に関する実態調査報告書の配布
	1	27	月	令和元年度第 3 回加美町スポーツ振興基本計画策定委員会 ・第二次加美町スポーツ推進基本計画策定（案）について ・第二次加美町スポーツ推進基本計画第 1 期計画（案）について
	2	20	木	第二次加美町スポーツ推進基本計画提案書提出
	3	26	木	加美町教育委員会 3 月定例会